



平成21年1月22日

九州遺産観光セミナー(豊の国編)を開催します！

～大分の遺産を再発見し、活用するための新視点～

九州運輸局は、平成16年より近現代遺産に着目し、その存在意義を周知しながら観光等への活用を促す「九州遺産」プロジェクトを開始し、九州各地で遺産施設を活用したセミナーを開催しています。

この度、大分が有する歴史ある温泉街の建物や美しい農業遺産などを、これからの観光振興に活かすため、「九州遺産観光セミナー(豊の国編)」を、2月21日(土)に別府市中央公民館において、開催することとしましたので、お知らせいたします。(別紙参照)

今回開催する「九州遺産観光セミナー(豊の国編)」では、様々な分野で地域遺産や観光に係わる方々に、その経験を踏まえたお話を賜り、遺産観光の将来性についてディスカッションするとともに、フォーラム終了後には、「別府建築めぐり(建築遺産探訪ツアー)」を行い、会場周辺に点在する建築遺産を実際に歩きながら、その美しさ、面白さを楽しく解説いたします。雨天の場合は、会場となる別府市中央公民館の細部について楽しみます。

観光振興による地域づくりに興味のある方であれば、どなたでもご参加頂けますので是非ご応募下さい。

当日のプログラムは、別紙のとおりとなっております。

応募方法等に関しましては、別添「参加申込について」によりご連絡願います。

<問い合わせ先>

九州運輸局 企画観光部 観光地域振興課

担当：押井・江藤

電話：092-472-2920

九州遺産観光セミナー・豊の国編

大分の遺産を再発見し、活用するための新視点

コンセプト

歴史ある温泉街の建物や美しい農業遺産など、大分に散在する魅力的な遺産を再評価し、新しい観光への活用を考えます。

大分県には独特な石造文化があり、魅力的な石橋や水道橋が残されています。白水堰堤をはじめ、水と農業をめぐる見どころは注目を集め、訪れる人の数も増えてきました。また、別府を中心に温泉観光の歴史があり、レトロな街並みは近年、「まち歩き」の対象になっています。さらに豊予海峡の灯台や軍事遺跡など、まだまだあまり知られていない遺産もあります。

今回のセミナーは、大分の遺産群をこれからの観光に活かすために、その魅力をわかりやすく紹介し、観光に活用するための具体的な方策や課題についてさまざまな立場から意見を交換します。会場は昭和3年竣工の歴史ある建物。セミナー終了後は周辺の建物めぐりも楽しめる内容です。

会場・日時

・別府市中央公民館(市民会館) 大ホール

・平成21年 2月21日(土曜日) 13:00開場、13:30開会～16:00

プログラム

別府建築めぐり 16:15～17:30

13:00 開場

*雨天の場合は中央公民館見学会

13:30 開会

・運輸局ごあいさつ…山口 一朗 氏(九州運輸局 企画観光部長)

【フォーラム】 *下記テーマはお話しの概要です。変更する場合がありますのでご了承ください。

◆パネラーによるトーク *コーディネーター/砂田光紀

・大分遺産、地域を彩るもの……………砂田 光紀 氏(オフィス フィールドノート 代表)

・地域遺産を活かした観光の動向……………大江 英夫 氏(九州観光推進機構 本部長)

・もうひとつの産業遺産、水と農の遺産を活かす…森 誠一 氏(朝地町土地改良区 事務局長)

・観光を楽しくする仕掛けづくり…唐池 恒二 氏(九州旅客鉄道株式会社 代表取締役専務)

・大分で建築を楽しむ方法……………高木 正三郎 氏(建築巧房代表/早稲田大学理工学術総合研究所講師)

◆パネラーによる意見交換 *コーディネーター/砂田光紀

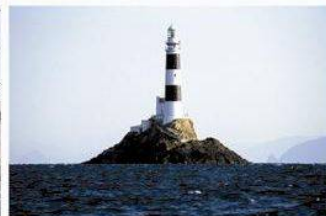
・テーマ「観光のこれから～豊の国を舞台に考える」

パネラー/大江 英夫 氏、森 誠一 氏、唐池 恒二 氏、高木 正三郎 氏、山口 一朗 氏

◆質問タイム

16:00 閉会

16:15～17:30 別府建築めぐり *雨天の場合は中央公民館館内見学会



■大分の近現代遺産

九州遺産観光セミナー・豊の国編 大分の遺産を再発見し、活用するための新視点

パネラーご紹介

●砂田 光紀 氏（オフィス フィールドノート 代表） *今回コーディネーター

『九州遺産 近現代遺産編101』著者。ミュージアムプロデューサー。近代化遺産をはじめ、その地域だけに残る文化的価値を見出しつつ地域づくりや観光に活かす活動を行っています。

●大江 英夫 氏（九州観光推進機構 本部長）

九州の観光振興を目指してさまざまな取り組みを行う九州観光推進機構の中核メンバー。取り壊しの危機にあった「旧伊藤伝右衛門邸」を保存し、観光に活かした影の功労者です。

●森 誠一 氏（朝地町土地改良区 事務局長）

石造りの水道橋を持つ若宮井路など90Kmに及ぶ水路と200haの耕地を管理する伝統ある土地改良区で実務に従事。ネットでの広報や出前講座などを通じてユニークな活動を展開されています。

●唐池 恒二 氏（九州旅客鉄道株式会社 代表取締役専務）

ユニークな視点で鉄道を活かした観光戦略を成功に導いてきたJR九州幹部。最近では九州新幹線開業と同時に100年の歴史を持つ肥薩線の観光活用に力量を発揮。4月にはSLも復活させます。

●高木 正三郎 氏（建築巧房代表/早稲田大学理工学術総合研究所講師）

自らも建築家でありながら、歴史的な建築の研究や評価にも従事。同建築の再生や活用に手腕を発揮しつつ、伝統的な建築技法や職人の技を伝承する努力も続けておられます。

●山口 一朗 氏（九州運輸局 企画観光部長）

「九州遺産」プロジェクトのチームリーダー。九州遺産観光セミナーは九州各県で回を重ね、特に「遺産そのものを会場とする」ことで地域の方々にその価値を実感していただく努力をしています。

参加申込について

- 応募資格** どなたでもご参加いただけます。
参加料 無料
応募人員 フォーラム・・・人数制限はありません。
別府建築めぐり（建築遺産探訪ツアー）・・・50名（先着順）
（*雨天の場合は中央公民館館内見学会に変更いたします。）

応募方法

- 1) メールでお申し込みの方は・代表者のお名前・ご住所・連絡先をご記入の上 kf-kikaku@qst.mlit.go.jp へ送信して下さい。
- 2) FAXでお申し込みの方は、下記の参加申込欄にご記入の上、FAXにて送信して下さい。

応募締切

平成21年2月16日(月)

別府建築めぐり(建築遺産探訪ツアー)は、定員になり次第締め切らせて頂きます。

応募結果のご連絡

別府建築めぐり(建築遺産探訪ツアー)にご応募いただいた方のみ、後日ご連絡いたします。

会場までの交通手段

別府市中央公民館(別府市上田の湯町6-37) TEL 0977-22-4118

【徒歩】JR別府駅から約10分

【バス】JR別府駅西口 8番浜脇・観海寺線、36番湯布院線、37番くじゅう高原線「公民館前」下車

お問合せ先

国土交通省 九州運輸局 企画観光部 観光地域振興課/江藤

TEL: 092-472-2920

◎ 参加申込欄

代表者のお名前			
ご参加者数	フォーラム	名	別府建築めぐり
ご住所	県	市町村	(市町村名までで結構です。)
電話番号			
FAX番号			

別府建築めぐり(建築遺産探訪ツアー)は先着50名様に限らせていただきます。
お申し込みの際して、記入された個人情報了他に使用することはありません。

FAX : 092-472-2334

送信間違いのないようお願いします。